

ふるさととしごとをつくる

～農業ビジネス体験を通じた、地域資源の発見・開拓・発信～

0. 今年度の課題

- ・ 学年の指導方針：前向きに挑戦できる生徒を育成する
- ・ 中学2年生の総合学習のコア＝地域の魅力と課題の発見＋本人の進路選択に向けた準備
- ・ コロナ感染症の影響から、①密接状況の回避・②事業所への配慮の観点から、職場体験は実施しない
- ・ 感染症と休校措置の状況次第では、総合学習の時数確保が難しくなる

1. 目的 / 目指す生徒の姿

- ・ 地域の産業資源の魅力と課題を発見し、地域をよりよくするアイデアを構想し、発信することができる
[課題対応能力]
- ・ 不確実な時代を生きるためのキャリア観として、「しごとをつくる」ことの可能性があることがわかる
[キャリアプランニング能力]
- ・ 体験活動を通じて、仲間や地域の方々となつなぎ、協力してアウトプットすることの大事さがわかる
[人間関係形成・社会形成能力]

2. 実施内容

- ・ 地域の畑を利用した、さつまいもの栽培活動
- ・ 収穫したさつまいもを地域で消費するためのビジネスプランコンテストの実施
- ・ 農業ビジネスの最前線事例と、地域の農業6次産業化事例に関するゲスト講演

3. 実施時数と実施計画

合計：27時間（10月以降は栽培状況に応じて適時実施。第19時までの活動は可能な限り前倒しする）

5月 w3	01. オリエンテーション	9月 w1	16. [ビ]グループワーク(最終発表準備)
	02. [栽]苗の植え付け		17. [ビ]グループワーク(最終発表準備)
	03. [栽]苗の植え付け	9月 w3	18. [ビ]ビジネスモデルコンテスト
6月 w1	04. [ビ]グループ活動概説とグループ分け		19. [ビ]ビジネスモデルコンテスト
	05. [栽]栽培基礎と栽培計画について	10月	20. [栽]収穫
6月 w3	06. [ビ]グループワーク(地域と顧客理解)		21. [栽]収穫
	07. [ビ]ビジネスモデル演習	10月	22. [栽]保存作業
7月 w1	08. [講]地域と農業六次化		23. [栽]保存作業
	09. [ビ]グループワーク(アイデア出し)	11月	24. [ビ]小中一貫研究大会での発表
7月 w3	10. [ビ]グループワーク(アイデア出し)	12月	25. [栽]収穫祭(ビジネスアイデア実験)
	11. [講]アグリビジネスの最前線		26. [栽]収穫祭(ビジネスアイデア実験)
8月 w1	12. [栽]つる返し・メンテナンス	12月	27. まとめ学習
	13. [栽]つる返し・メンテナンス		
8月 w3	14. [ビ]グループワーク(中間発表準備)		
	15. [ビ]中間発表ポスターセッション		

4. 生産計画

- ・ 栽培品種：さつまいも（紅あずま） 合計約180苗で生産
- ・ 必要作業：植え付け（生徒）→除草（教員）→つる返し（生徒）→収穫・保存（生徒）
- ・ 栽培後：- ビジネスプランコンテストの採用プランの通り活用

5. ビジネスプランコンテスト実施計画

- ・ テーマ：「このさつまいも、誰にどう届けば買ってもらえるか、考えてみよう」
- ・ チーム構成：4人1組（一部、5人）で10チーム
- ・ 最終発表：アイデアのユニーク性・実現可能性から審査。実際に採用するプランを決定する。